

令和5年度 自己評価・学校関係者評価報告書 上津役幼稚園

1・本園の教育目標

・基本的な生活習慣を身につけ、心も身体も丈夫な身体を育てる ・周りの人や自然とのふれあいを通して、感動する喜びを育てる ・遊びを通して仲間との関係を育み、秩序と協調の精神を育てる ・経験したこと、考えたこと等を言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育む ・家庭と地域との協力のもとに、思いやりのある子どもに育てる

2・本年度の重点的に取り組む目標…表内赤文字

3・評価項目の達成及び取り組み状況

取組と成果に関する評価結果… A：とても良い B：良い C：普通 D：良くない（要検討）

重点目標	評価項目	評価指標及び評価結果						職員のコメント	
		基準	取組指標	取組結果	基準	成果指標	成果結果		総括評価
① 幼児の年齢や発達に応じた関わり方をする	④特別支援教育・保育 一人一人に合った目標を立て、支援（保育）を行う。	4	一人一人の発達の道筋を見通しながら、継続的に関わる。	3.5 (B)	4	幼児が自分なりに考えた事を保育者に話したり、自分でやってみたりするようになった。	3.3 (B)	3.4 (B)	・日頃の個別に応じた声掛けや働きかけが一人一人の安定した園生活に繋がっていると感じる。 ・子どもと共に遊びながら、子どもの興味・関心に寄り添い、発達に合わせながら信頼関係を築いてきた。その結果引っ込み思案な子、大人しい子たちも心を開き、安心感を持ち、思った事を話したり、やってみたりするようになったと思う。
		3	教師の言葉掛けや援助と幼児の育ちを関連付けて評価をする。		3	困った事や分からない事があると保育者に聞いて来るようになった。			
		2	発達の状況や幼児の思いを捉える。		2	幼児は感じた事や考えた事を保育者に話すようになった。			
		1	幼児一人一人をよく見る。		1	幼児が安心して登園するようになった。			

重点 目標	評価項目	評価指標及び評価結果							職員のコメント
		基準	取組指標	取組 結果	基準	成果指標	成果 結果	総括評価	
② 豊かな自然を取り込んだ保育の展開	④特別支援教育・保育 自然の中で幼児の遊 びを広げる援助の工 夫	4	個々の自然に対する興味に共感し、 幼児の遊びに必要な道具や、幼児自 身が楽しみながら自分達で調べられ る教材(図鑑・絵本など)を準備す る。	3.1 (B)	4	発見した喜びや学ぶ楽しさを友達や 教師と共感し、昆虫の生態や植物の 生長等をより詳しく知ろうとする探 求心を持ちながら積極的に遊ぶよう になった。	3.0 (B)	3.0 (B)	・絵本や写真だけでなく、実際に外 に出て実物を見たり、触ったり、食 べたりして直に自然環境を楽しむこ とが出来ていると思う。 ・自然と関わる活動は継続して会話 等が広がる場面はあるが、子どもの イメージした遊びや草花を使って遊 ぶまでに至っていない。定期的に教 師間で話題にしていくようにした い。
		3	幼児の自然の中で遊ぶ姿を捉え、記 録する。終礼や園内研修で報告し合 い、共通理解をする。		3	イメージした遊びを試行錯誤しなが ら展開し、友達と一緒に満足感を味 わう姿が増えた。			
		2	園庭の季節の花を保育室に飾った り、摘んだ草花で遊んだりし、幼児 の自然環境への興味を広げる。		2	園庭の自然に気付き、興味のある草 花を使って遊ぶようになった。			
		1	園庭の自然の中で幼児が遊ぶ時間を 設ける。		1	特定の幼児だけが自然に関心を持 ち、興味を示さない幼児も多い。			

重点 目標	評価項目	評価指標及び評価結果						職員のコメント	
		基準	取組指標	取組 結果	基準	成果指標	成果 結果		総括評価
③ 教職員がそれぞれ全体的立場を理解し、協力・協働できる体制になる	⑤組織運営 園務の内容を共通理解する。	4	週番、係、バス当番、非正規職員の勤務状況等を全員が確認する工夫をしカバー体制に努める。	3.4 (B)	4	他者理解や尊重が深まり、自分が担当している園務や保育について全体の進捗状況や相手の思いを受け止めながら積極的に話し合う様になった。	2.7 (C)	3.0 (B)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の仕事や週案、係の仕事などたくさん行っている中で、3学期は、学年の製作物等、自分の負担が多く感じた。自分担当の係だけに集中するのではなく、学年の先生や周りの先生が「どんな仕事をしているのか」まで目を向け、お礼や気配りまで出来るようになると思う。</li> <li>・皆の職員が声掛け、態度など基本を守っていかれたらと思う。</li> <li>・職員間の相互信頼関係、協働性が今後も必要だと思う。(それぞれの立場でどのような保育、業務が必要なのか判断したり、その内容について気軽に相談したり、確認できる様に。)</li> <li>・職員数が多いので、理解や認識が困難である為、一人一人が幼稚園の予定や状況を知ろうとする意識を持てるように努力したい。仲間意識が持てるよう笑顔で語り合えるような環境を作りたい。</li> </ul>
		3	非正規職員と勤務体制に合わせて互いに報告し合い情報共有を行う。		3	チームとして保育に取り組む様になった。			
		2	終礼を週に1度は行い、それぞれが担当している行事や保育内容を報告し合う。		2	職員間で相談する様になった。			
		1	お互いに声を掛け合う。		1	自分の担当の仕事をしている。			

重点 目標	評価項目	評価指標及び評価結果						職員のコメント	
		基準	取組指標	取組 結果	基準	成果指標	成果 結果		総括評価
④ 年齢や生活の流れに 応じた幼児の健康と安全を守る為の実践	②保健管理 幼児の特性を理解し、健康で安全な生活を送れるように努める。	4	丁寧に手洗いをしている姿を認める言葉掛け、周囲の他児も必要性に気付く様な言葉掛けをする。	3.5 (B)	4	幼児が健康を意識して、生活するようになった。	3.2 (B)	3.3 (B)	・健康と安全について、紙芝居やパネルシアター、絵本などでも分かりやすく伝え、子ども達もしっかり理解していたと思う。 ・SDGsや10の姿を取り入れた保育を行う事が必要不可欠である。全職員が学ぼうとする意識が持てるような環境を作りたい。 ・手洗いや換気だけでなく、マラソンやラジオ体操などで健康な体づくりに繋がっていると感じた。
		3	健康で安全な生活に必要な事を分かりやすく声掛けをし、視覚教材(ポスター、絵本等)を利用する。		3	幼児が必要感を持って丁寧に手洗いをするようになった。			
		2	手洗いの手順表を目につくところに掲示して、保育者が率先して手洗いをする姿を示す。		2	掲示物を見ることや、教師の声掛けにより、手洗いをするようになった。			
		1	日々丁寧に視診を行い、健康状態を把握する。		1	保育者が声を掛ければ手洗いをした。			

## ○総合的な評価結果

評価	理由
3. 1 (B)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価結果から、幼児一人一人に合った目標を立て、支援することが出来た。また、職員が園児一人一人に対して共通理解を深める為に、日常の支援や援助の方法を確認するために、ケース会議を活用している。また、同様に定期的に終礼を行い、子ども達の状況について情報交換やその方策について協議することが出来た。</li> <li>・恒例となっている活動での自然との触れ合いは順調に進められた。活動ごとに子ども達の心の動きが実感できた。遊びの中で広げる自然体験としては、仕掛けや教材準備などの話題作りに努めたい。自然とのふれ合いを外遊びと限定していると運動遊びや本来の自由な遊びが優先するので、保育計画に仕掛けを工夫していきたい。</li> <li>・職員間で業務内容などの声掛けを意識して行うことが出来たが、業務負担の偏りや、業務内容の改善があまり進まなかった。次年度は、積極的にICT化を取り入れたり、職員間で業務内容の理解や共有をし、優先順位を決め、仕事配分をするなどに取り組んでいきたい。</li> <li>・丁寧に手洗いの必要性は生活に定着しているが、年齢や季節によっては個別の声掛けや見守りが必要なので、今後も継続して努めていきたい。感染症の予防対策としては感染症の情報発信を行い、学級閉鎖などはせずに年度末を迎えられている。今後、健康への意識は、食育や生活習慣、運動遊びなど、様々な内容とつなげて取り組みを続け、保育の質向上に繋げたい。</li> </ul>

## ○今後取り組む重点的課題

課題	具体的な取り組み方法
① 教師の更なる保育の質の向上	・状況に合わせ、様々な形の研修への積極的な参加や園内研修の取組をする。
② 保育の計画性	・カリキュラムマネジメントを行い、子どもの総合的な学びを育み、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた教育課程を編成する。 ・教師が幼稚園指導要領のさらなる理解に努め、教育課程の現実化に図る。
③ 安全点検や教師・幼児の安全対応力を高める取り組み	・遊具の遊び方・注意点のマニュアルを作成する。 ・園運営に必要な安全マニュアルの改善を図る。

## ○学校関係者評価委員会の評価 委員会実施日 令和6年 3月 7日

園長先生の経営方針の下、年度当初に重点課題を設定し、通常教育活動や行事において園全体で組織的に取り組んでいる点に感心させられます。園の雰囲気も大変落ち着いており、訪問する度に園児の元気なあいさつでさわやかな気持ちになります。人材育成に関しても、計画的に研修を設定したり、OJT をしっかり機能させたりする等、高く評価したいと思います。

保護者アンケートでも肯定的な回答が多く、充実した教育活動が実践されていると思います。今後も保護者や関係機関との連携しながら、教育活動を実践されることを望みます。